



目標・希望・友達

令和7年11月18日
長崎市立女の都小学校
校長 佐藤 和幸

今週になり、気温がぐっと低くなりました。冬の寒さになってきました。長崎市でもインフルエンザ等の感染症が本格的に流行してきました。学級閉鎖をしている学校もあるようです。感染予防には、十分な栄養と睡眠、規則正しい生活、衣服の調整、汗をかいたときの処理、そして手洗い、うがいを励行することです。学校でも定期的な換気を行っています。

※インフルエンザ等、感染症の中には、感染力が強い「出席停止」となる病があります。病院で診断を受けましたら早めに学校にも診断名をご連絡ください。



女の都小50周年記念式典 ブルーフェスティバル

11月16日（日）、天候にも恵まれ、「長崎市立女の都小学校創立50周年記念式典及びブルーフェスティバル」を実施しました。当日は、多くの保護者の皆様、地域の方々にご来校いただき、感謝申し上げます。ありがとうございました。

記念式典では、式辞の中で女の都小学校創立時の様子を簡単に振り返りました。当時の女の都小学校をご存じの方には懐かしかったのではないのでしょうか。後半には、女の都小OBの方の記念講演、職員による合奏、そして当日まで秘密だった変面ショーがありました。とても楽しく盛り上がりました。企画・運営をしてくださった実行委員会の皆様、本当にありがとうございました。

ブルーフェスティバルでは、各学年の発表がありました。

1年生による「めのとしょう 1ねんAくみ くじらぐも」、2年生による「女の都まるわかりクイズブックをしょうかいしよう」、3年生による「50周年記念女の都小のれ・き・し」、4年生による「音楽大好き！『こんぎつね』『君をのせて』」、5年生による「私たちのクスノキ」、6年生による「長崎の魅力発見！」

国語科や音楽科、生活科や総合の時間などにそれぞれの学年が学習した成果を発表しました。中には長崎、そして女の都を題材にした発表もあり、郷土に興味をもち、郷土を愛する子供たちの姿も見ただけなのではないかと思えます。皆さんに見ていただいて、子供たちもとてもうれしそうでした。

学力調査分析④

6年生の学力テストは、全国学力・学習状況調査といい、日本全国の小学6年生が、同じ問題に取り組んだものです。問題を分析することで、今後子供たちにどのような力が望まれているのかを知ることができます。

○ 6年生国語科

平均正答率は全国、県を大きく上回っています。特に「話すこと・聞くこと」「書くこと」は平均正答率が高くなっています。本校で実践している「対話型授業実践」で、授業中の対話を重視した授業の成果が表れているのではないかと思います。

さらに説明文や物語文の読み取りの学習を深めることで、「読むこと」についても向上を目指して指導します。

○ 6年生算数科

平均正答率は全国、県を大きく上回っています。特に「数と計算」「図形」「測定」に関しては、学習したことが十分身につけていると考えられます。

一方、比例など一方が変化すると他方も変わる関係等の「変化と関係」については、復習を行い理解をより確実なものにしたいと思います。

○ 6年生理科

平均正答率は全国、県を大きく上回っています。「生命」「地球」を柱とする領域は正答率が大変高く、よく理解できています。

「エネルギー」「粒子」を柱とする領域も全国、県の平均正答率を上回っていますが、知識・理解の部分をさらに伸ばすことで全体的な向上が図られると思います。